

令和7年度 第3回中津川市子ども・子育て会議 会議録

日時	令和8年3月18日(水) 19:00～19:50
場所	市役所 会議棟2階 大会議室
出席	<p>■子ども・子育て会議委員 16名</p> <p>栗岡委員、橋本委員、曾我委員、小栗委員、市岡委員、浦田委員、青山委員、古田委員、小川委員、嶋倉委員、中村委員、丸山委員、神谷委員、水野委員、掘尾委員、林委員</p> <p>■事務局</p> <p>原医療福祉部次長、安江幼児教育課長、曾我こども家庭課長 こども家庭課 瀧瀬</p>
内容	<p>1 委嘱書交付【資料1】</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 中津川市における乳児等通園支援事業（誰でも通園制度）の開始及び定員の設定について 【資料2】</p> <p>(2) その他</p> <p>①保護者部会からの報告【資料3】</p> <p>②団体の役員改選による「子ども・子育て会議委員」の交代時のお願い</p> <p>4 閉会のことば</p>

<会議録(要旨)>

1 委嘱書交付	主任児童委員の役員改選による委員交代（次長から選出された委員に委嘱書を交付）
2 あいさつ (次長)	<p>・主任児童委員の役員改選があり、新委員として就任いただいた。地域のこどもや子育て世帯に関わる関係者の立場から、当市の子育て施策へのご意見をうかがいたい。</p> <p>・あと2週間で令和8年度を迎える。子ども・子育て会議でのご意見をもとに策定した「こども計画」は2年目となる。ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援を次年度も推進していく。</p> <p>・本日が令和7年度最後の会議。役員改選等により本日で任期満了となる委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。</p>
3 議事	<p>(1) 中津川市における乳児等通園支援事業（誰でも通園制度）の開始及び定員の設定について【資料2】</p> <p style="text-align: right;">幼児教育課</p> <p>(資料2について事務局が説明)</p>
委員長	ご意見、質問はありますか。
委員	<p>この制度は、1人当たりの利用時間が月10時間で、1日3時間利用すると3日間程度。中津川市独自で月40時間とすることを提案する。</p> <p>40時間にすることは、こどもたちや保護者にはメリットがあり、保育士がいないことがデメリットと言われる。デメリットについては解決できる問題なので、利用できる時</p>

	<p>間を増やすよう提案する。</p> <p>実際に流山市や福岡市は行っている。流山市では、このような制度や産科など、いろいろな施設がそろっていて、人口も増えている。</p>
委員長	今の提案に対していかがですか。
事務局	<p>全国で実施される従前にはない子育て支援制度ということで、まずは国の基準で始める。今後、利用された方の声や、施設のなどの声を聞きながら、検討していく事項と考えている。</p>
委員	<p>需要と供給を考えると、中津川市はこれで良いのかと考える。前委員が言われた、流山市では毎年こども園などが新しくできている。良いところを真似することは必要。条件が違うので同じようには出来ないと思うが、とりあえず始めることは悪いことではない。今回この内容で始めていくということだが、需要を満たしていけるのか。</p>
事務局	<p>今、保育園に通っているこどもが増えている状況。保育園等を利用していない方の中で、シミュレーションをした結果、この内容になっている。</p> <p>その施設で預かれる人数として設定をしているが、始めてみて足りないこともあるかもしれない。</p>
委員	<p>ひと・まちテラスの3階で子育て支援センターを運営している。</p> <p>そこで、一時預かりと、ファミリー・サポート・センターの事務局を行っている。</p> <p>一時預かりとファミリー・サポート・センターを連携させながらこどもを預かっているが、利用がととも増えている状況。頻繁に利用する方には、きちんと保育ができ、他のお友達ともかかわれる保育園を勧めることがある。保護者のなかには、こどもとの過ごし方が分からないという方もいるため、スタッフ間で、こどもの様子を伝えながら、こどもとのかかわり方を伝えられるよう心掛けている。</p> <p>そんな面を考えると、保育園に預かってもらうことはとても良い制度と思う。その中に親の育ちを入れて実施してほしい。</p> <p>また、このような制度はどうしても市内に偏ってしまう。北部や阿木では、利用するまでに移動の時間がかかってしまい、利用しづらい。市全体で利用できるよう、市内から離れたところの保護者にも目を向けていってほしい。</p>
事務局	こども誰でも通園制度だけではなく、一時預かりやファミサポも含め、子育て世帯を応援できるような制度の構築に取り組んでいきたい。
委員	<p>うちの園も実施するよう手を挙げている。一時預かり事業も行っており、年間600名預かっている。それだけ預かりのニーズがある。</p> <p>一時預かりと誰でも通園制度の違いを補足すると、一時預かりは、時間の制限がない、保護者のリフレッシュなどが目的の子育て支援です。誰でも通園制度は、こどもの育ちが目的です。</p> <p>保育者との関わりによって、お母さんよりも愛着形成が高まるという研究がある。この誰でも通園制度をこどものために、時間数を増やすのは理想だが、現状としては、職員がギリギリな状況。</p> <p>他の園ができない理由は、人手不足の他に、一時預かりのこどもを預かると保育現場が</p>

	荒れると思っていて、この意識改革は保育園現場がやらないといけない。 良い制度があっても、保育者の意識が変わらないと難しいと感じる。
委員長	今の意見は、今後の運営に活かしていただきたい。
(2) その他 ①保護者部会からの報告 (資料3について保護者部会代表から説明)	
事務局	R8.2.17 に現役の子育て世代として保護者代表委員で懇談会形式の保護者部会を行った。 この内容を委員が報告します。
委員	<p>保護者部会を行い、子育て支援に関する意見を出し合った。その中の意見を3点に絞り発表する。</p> <p>1つ目は、学童保育について。 福岡地区には季節学童があるが、他の地区にはない。夏休み等の長期休暇だけ使いたくても年間で申し込みが必要。その不便さについて意見があった。</p> <p>2つ目は、通学と下校時の安全と学校対応について 最近熊の出没があるが、こどもの徒歩通学・徒歩下校が心配。 地区により、スクールバスがあっても、利用できる距離じゃないから乗せてもらえない。バスに空席があるのに、融通が利かないことが不満。また、学童を利用するほどではない子を、もう少し学校にいさせてほしい。例えば、あと30分待たせてもらえれば迎えに行けるのに帰らされる。帰らされるので、長い距離、長い時間を歩いて帰ることになり保護者からは心配の声が上がっているのが現実。 責任の所在の問題は理解できるし、先生方の負担軽減も承知しているが、こどもたちの安全のために、もう少しサポートをしてもらえないかという意見があった。</p> <p>3つ目は、障がい児などの支援級在籍時の小1の壁と就労について 支援学校や支援学級に通っているこどもは、下校時間が早かったり、迎えが必要だったりして、保護者が働けない環境になってしまう。障害があると学童の受け入れも少なく、こどもの居場所がなく保護者は仕事を続けられない。実際、自分のこどもも支援クラスに通っていて、小学校に上がった時の不安はすごく大きく、保護者のどちらかが仕事を辞めなきゃいけないという前提で動いている。早く変わって欲しいと感じている。 保育園では4月から、朝30分早く登園できるようになると聞いた。この30分が変わったことはありがたいが、3時半のお迎えは変わらないのでフルタイムで働けるようになるわけではない。もう少し幅を広げてほしいと思う。 保育園の支援クラスの預かり時間が短いのは、こどものためと説明を受けている。 今の保育園に通う前の未満児で通っていた保育園ではフルタイムで預けることができていた。体力もこどもによって違うので、支援クラスの中でもフルで預けられる判断を保育園側にしてもらいたい。 これらの話の「小学校の登下校」と、「学童」、「支援クラス」も全て、人手が足りないことを感じる。それならば、働く人の条件を良くして雇用を増やせばいいのではと思う。</p>

	<p>そうなれば、周りの市からも中津川市で働こうと思う人が増え、ここで子育てをしようと思う人が増えるのではと思う。</p> <p>理想は、もっと市がサポートして、もっとお金を出して、それをやることで、人手不足やこどもの減少が、良い方向に向くのではと思った。</p> <p>他にもいろいろな意見があったので、資料3に目を通してほしい。</p>
委員長	今の報告について、質問や意見はありますか。
委員	<p>人手不足の問題には、潜在保育士の掘り起こしが絶対に必要。</p> <p>預かれないのは、保育には配置基準があって、保育士が必要となっている。ただし、必ずしも保育士じゃないといけないということではなくて、一時預かりや誰でも通園制度は、保育士1人プラス子育て支援員でも良いとなっている。</p> <p>子育て支援員は保育士に準ずる人のことで、研修を受けて資格を取れるので、この人たちを増やして、配置に入れ込んでいけば、クリアできる気がする。</p> <p>あとは、「まあいいところ」さんがやっている、サポーター養成講座を受けた人とか。人がいないから預かれないのであれば、資格者を増やすとか、資格の範囲を広げるなど戦略的にやっていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>発達支援クラスの基準については、保育士不足だけではなく、委員が言われたように、こどもの体力的なこともあり今の預かり時間になっている。</p> <p>前回の会議のあと、なんとかこの時間を変えられないかということ園長会で相談した結果、今できることが、最初の30分を伸ばすことになった。</p> <p>個人で預かり時間に差をつけるのは難しく、今は8時から一応4時までで、保護者と今日あったことなどを共有する時間を含めていて3時半となっている。時間延長も含めて、少しずつではあるが改善していきたい。</p>
委員	<p>この保護者部会の後に教育委員会定例会があったので、この保護者部会の内容を共有した。</p> <p>教育委員会事務局としては、学校によって、下校などの扱いが様々なので、まずは現状を把握することのこと。</p> <p>せっかくの機会なので先生に伺いたいですが、これまで、いろいろな学校で勤務されきたと思うが、その昔は下校時刻までは自由に過ごさせていたのが、今はそうでない学校も増えてきている。その変化の理由はどのように感じているか。</p>
委員	<p>私は、中学校ばかりに勤めてきた。中学校では、部活動があり放課後が十分確保されていた。小学校では、こどもの安全確保が最優先であり、1人で帰らす子を少なくするために、まとまって帰ることを最優先したり、熊の情報があればお迎えをお願いするなど、その安全に対する意識が、昔より高くなっているという印象を受けている。</p>
委員	<p>私は落合ですが、私のこどもも学童を利用している。来年度から小学校が神坂と合併するので神坂のこどもたちも落合の学童を利用するようになる。</p> <p>そうなると、定員があふれ、高学年のこどもは利用できないという状況になり、うちのこどももおそらく来年学童は利用できなくなる。</p> <p>一方で神坂のこどもはバス通学になる。落合のこどもは徒歩。</p>

	<p>うちは山奥なので、熊が出るところのを1人で帰らなければならなくなる。それでも学校は時間になったら帰らせる。</p> <p>本当に命に関わる話なので、どこか1つの教室を開けて、見てくれてなくていいので、いさせてほしいという思いがある。そんな話がこの保護者部会の中でもたくさんあったので、居場所を作ることをぜひ考えてほしい。</p>
事務局	<p>保護者部会では本当にたくさんの意見があった。</p> <p>いただいた意見は、市役所内の関係各課に対して情報共有を行った。各担当課で今後検討し施策の改善につなげたい。</p> <p>課題のある内容については、各課の会議の専門部会等のなかで改善に繋がられるよう考えている。</p> <p>一例としては、障害のあるお子さんの預かりについては、社会福祉課へ繋ぎ、中津川市障害者総合支援協議会の中のこども部会では障害福祉の課題の1つとして捉えているとのことで、関係機関やサービス事業所と協議を行っているが、引き続き検討していくということだった。</p> <p>今後も、子育て世帯の保護者の意見を活かし、市の子育て政策の推進につなげていきたい。</p>
<p>(2) その他</p> <p>②団体の役員改選による「子ども・子育て会議委員」の交代時のお願い こども家庭課 (曾我課長から説明)</p>	
委員長	<p>議事は以上です。全体を通してご意見などありますか。</p> <p>無ければ以上で本日の議題は終了です。</p>
4 閉会のことば 副委員長	<p>主任児童委員として12月からこの委員になった。</p> <p>以前は、民生委員・児童委員で主にお年寄り対応をしていたが、分からないまま3年間過ぎた。今度主任児童委員となり、図らずも会長になったが、今日聞いたことも、このような実態に驚いている。</p> <p>自分としては、こどもとその家庭のトラブルに気付いたら、どこかに繋ぐ役という役割というところまでは理解はしている。今の皆さんのご発言があった困り感を一体どのように繋いでいくことが、こどもや親のためになるのかということを考える時間になった。</p> <p>本日は、大変熱心なご審議ありがとうございました。</p>